



2022年5月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年7月14日

上場会社名 U U U M株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3990 URL <https://www.uuum.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 梅景 匡之
 問合せ先責任者(役職名) 執行役員 (氏名) 渡辺 崇 (TEL) 03-5414-7258
 定時株主総会開催予定日 2022年8月25日 配当支払開始予定日 —
 有価証券報告書提出予定日 2022年8月25日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2022年5月期の連結業績(2021年6月1日~2022年5月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年5月期	23,584	—	971	19.1	1,002	17.2	448	△18.4
2021年5月期	24,488	9.0	815	△17.9	855	△8.3	549	53.0
(注) 包括利益	2022年5月期		422百万円(△23.8%)		2021年5月期		554百万円(54.1%)	

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2022年5月期	22.65	22.19	10.8	9.8	4.1
2021年5月期	27.90	27.09	15.1	8.5	3.3

(参考) 持分法投資損益 2022年5月期 一百万円 2021年5月期 一百万円

当連結会計年度より、「収益認識に関する会計基準」等を適用しており、売上高において大きな影響が生じるため対前期増減率を記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年5月期	10,704	4,412	40.8	220.54
2021年5月期	9,728	3,960	40.5	199.67

(参考) 自己資本 2022年5月期 4,371百万円 2021年5月期 3,943百万円

当連結会計年度より、「収益認識に関する会計基準」等を適用しており、2022年5月期に係る各数値については同基準適用後の数値であります。

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2022年5月期	1,347	△535	△107	3,727
2021年5月期	228	△775	△761	3,021

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭			
2021年5月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2022年5月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2023年5月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—

3. 2023年5月期の連結業績予想(2022年6月1日~2023年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	27,000	14.5	1,100	13.2	1,045	4.2	650	45.0	32.87
	~	~	~	~	~	~	~	~	~
	28,500	20.8	1,300	33.8	1,245	24.2	780	74.0	39.45

(注) 詳細は、3ページ「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年5月期	19,893,180株	2021年5月期	19,748,100株
② 期末自己株式数	2022年5月期	121,200株	2021年5月期	一株
③ 期中平均株式数	2022年5月期	19,793,205株	2021年5月期	19,684,989株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本決算に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

決算補足説明資料は2022年7月14日（木）に当社ホームページ（<https://www.uuum.co.jp/ir>）に掲載しています。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
連結損益計算書	6
連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(会計方針の変更)	11
(会計上の見積りの変更)	11
(セグメント情報等)	12
(1株当たり情報)	14
(重要な後発事象)	14

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における世界経済は、新型コロナウイルスによる影響の長期化を背景に、消費や広告出稿が落ち込みました。また、ロシアによるウクライナ侵攻を起因とする地政学リスクの高まりや、エネルギー価格の上昇をはじめとする世界的な物価上昇、各国の政策金利引き上げやそれに伴う為替変動など、世界的に景気の先行き不透明感が一段と高まりました。

このような状況の中でも、当社グループは、オンラインを中心とした事業特性を生かしてクリエイターサポート業務等を継続して展開しております。

当社グループは、クリエイターサポートを主たるサービスとして展開しておりますが、国内の端末別インターネット利用状況を見ると、スマートフォンの保有率が2021年8月で74.3%となり(総務省2021年「通信利用動向調査」)、スマートフォンの普及や通信インフラの発達に伴い、これまで以上に動画の視聴機会が増えております。

このような事業環境のもと、新たなクリエイターの獲得や育成、クリエイターを活用したプロモーションビジネスの拡大など、グッズ・EC事業の拡大など、事業基盤の強化に努めるとともに、新規事業の更なる拡大にも注力してまいりました。

当連結会計年度における当社グループの経営成績は次のとおりであります。

売上高は23,584,921千円(前年同期は24,488,391千円)となりました。広告領域においてタイアップ以外の広告ソリューションが広がったことによる売上拡大や、様々なクリエイターブランドに立ち上がりによる増収効果はあったものの、収益認識基準の変更による影響を受けました。

営業利益は971,395千円(前年同期比19.1%増)となり、経常利益は1,002,707千円(前年同期比17.2%増)となりました。これは主として、広告やクリエイターブランド等の売上増加に伴う売上総利益の増加があった一方で、人件費を中心とした販管費が増加したことによるものであります。

親会社株主に帰属する当期純利益は448,329千円(前年同期比18.4%減)となりました。業績見通しの変化に伴い、社内ソフトウェアについて当初予定していた費用削減効果を見込めなくなったことから、特別損失として減損損失を計上したことによるものであります。

なお、当社グループは動画コンテンツ事業の単一セグメントであるため、セグメント毎の記載はしておりません。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末における資産は、10,704,396千円となり、前連結会計年度末に比べ976,346千円増加いたしました。

流動資産は7,736,515千円となり、前連結会計年度末に比べ953,936千円増加いたしました。この主な内訳は、現金及び預金が705,808千円、商品が287,237千円増加し、売掛金が154,929千円減少したことによるものであります。

固定資産は2,967,880千円となり、前連結会計年度末に比べ22,409千円増加いたしました。この主な内訳は、投資その他の資産が276,914千円増加し、無形固定資産が269,728千円減少したことによるものであります。

(負債)

当連結会計年度末における負債は、6,292,393千円となり、前連結会計年度末に比べ525,271千円増加いたしました。この主な内訳は、短期借入金500,000千円、契約負債が328,267千円増加し、長期借入金(1年内返済予定の長期借入金を含む)が635,496千円減少したことによるものであります。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産は、4,412,002千円となり、前連結会計年度末に比べ451,074千円増加いたしました。この主な内訳は、新株予約権の行使により資本金及び資本剰余金がそれぞれ18,982千円増加し、親会社株主に帰属する当期純利益448,329千円を計上したことによるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ705,808千円増加し、3,727,645千円となりました。当連結会計年度におけるキャッシュ・フローの状況とその要因は以下の通りであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度において営業活動により獲得した資金は、1,347,923千円となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益737,576千円の計上、契約負債の増加328,267千円等があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度において投資活動により支出した資金は、535,062千円となりました。これは主に、投資有価証券の取得による支出350,932千円、無形固定資産の取得による支出209,145千円があった一方で、敷金及び保証金の回収による収入151,598千円等があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度において財務活動により支出した資金は、107,299千円となりました。これは主に、短期借入金の純増減額が500,000千円があった一方で、長期借入金の返済による支出635,496千円等があったことによるものであります。

(4) 今後の見通し

今後の見通しに関しましては、国内外含めた当社グループの業績を取り巻く環境は、インフレーションの長期化や金融引き締めの影響により先行き不透明な状況になっております。一方で、新型コロナウイルスを契機に消費者のインターネット上での活動機会は増加し、様々なジャンルの著名人がインターネット上で発信する機会も増加しておりますが、今後もこの傾向は続くと考えております。

このような経済環境の中、今後の当社グループにつきましては、時代の変化を好機ととらえ、多様な個人やクリエイターのニーズに応えられるような体制づくり、クリエイターとの共創事業の立ち上げに注力してまいります。

2023年5月期の見通しにつきましては、連結売上高は、国内外での広告事業のさらなる拡大やクリエイターブランドの拡大を織り込み、27,000百万円～28,500百万円と予想しております。連結営業利益は、売上成長に沿った売上総利益の増加を見込む一方、人員増加に伴う人件費の増加を見込んで1,100百万円～1,300百万円とし、親会社株主に帰属する当期純利益は650百万円～780百万円と予想しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、会計基準につきましては日本基準を適用しております。なお、IFRS(国際財務報告基準)の適用につきましては、国内外の情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年5月31日)	当連結会計年度 (2022年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,021,836	3,727,645
売掛金	2,382,354	2,227,425
商品	125,768	413,006
仕掛品	16,112	166,397
貯蔵品	1,350	456
未収消費税等	1,107,452	993,541
その他	127,702	208,041
流動資産合計	6,782,578	7,736,515
固定資産		
有形固定資産		
建物	395,913	493,776
減価償却累計額	△183,703	△272,375
建物(純額)	212,209	221,400
工具、器具及び備品	187,726	198,375
減価償却累計額	△125,547	△141,856
工具、器具及び備品(純額)	62,178	56,518
土地	—	11,692
有形固定資産合計	274,388	289,611
無形固定資産		
ソフトウェア	416,016	173,586
ソフトウェア仮勘定	—	123,137
のれん	194,385	113,949
契約関連無形資産	630,000	560,000
無形固定資産合計	1,240,401	970,673
投資その他の資産		
投資有価証券	573,450	937,036
繰延税金資産	277,323	402,479
敷金及び保証金	574,956	360,673
その他	4,950	7,406
投資その他の資産合計	1,430,681	1,707,595
固定資産合計	2,945,471	2,967,880
資産合計	9,728,050	10,704,396

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年5月31日)	当連結会計年度 (2022年5月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,644,165	1,847,455
短期借入金	1,500,000	2,000,000
1年内返済予定の長期借入金	635,496	363,120
未払金	179,372	255,502
未払費用	419,311	323,439
未払法人税等	222,332	325,402
契約負債	151,115	479,383
賞与引当金	140,480	189,618
役員賞与引当金	29,332	13,200
その他	61,310	66,692
流動負債合計	4,982,917	5,863,814
固定負債		
長期借入金	779,748	416,628
その他	4,456	11,950
固定負債合計	784,204	428,578
負債合計	5,767,121	6,292,393
純資産の部		
株主資本		
資本金	805,048	824,031
新株式申込証拠金	—	11,010
資本剰余金	774,048	814,693
利益剰余金	2,356,825	2,805,154
自己株式	—	△99,978
株主資本合計	3,935,923	4,354,910
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,256	16,647
その他の包括利益累計額合計	7,256	16,647
新株予約権	14,362	14,362
非支配株主持分	3,387	26,082
純資産合計	3,960,928	4,412,002
負債純資産合計	9,728,050	10,704,396

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2020年6月1日 至 2021年5月31日)	当連結会計年度 (自 2021年6月1日 至 2022年5月31日)
売上高	24,488,391	23,584,921
売上原価	17,988,525	16,460,103
売上総利益	6,499,865	7,124,817
販売費及び一般管理費	5,683,914	6,153,422
営業利益	815,951	971,395
営業外収益		
受取利息	40	34
還付加算金	2,197	—
為替差益	1,904	19,180
助成金収入	48,331	13,920
その他	15,644	20,577
営業外収益合計	68,117	53,713
営業外費用		
支払利息	9,949	7,875
支払手数料	1,726	2,672
売上割引	1,830	2,366
損害賠償金	13,951	8,510
その他	1,329	975
営業外費用合計	28,787	22,401
経常利益	855,282	1,002,707
特別損失		
減損損失	—	265,130
特別損失合計	—	265,130
税金等調整前当期純利益	855,282	737,576
法人税、住民税及び事業税	314,542	453,390
法人税等調整額	△6,790	△129,300
法人税等合計	307,752	324,090
当期純利益	547,530	413,486
非支配株主に帰属する当期純損失(△)	△1,612	△34,842
親会社株主に帰属する当期純利益	549,142	448,329

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2020年6月1日 至 2021年5月31日)	当連結会計年度 (自 2021年6月1日 至 2022年5月31日)
当期純利益	547,530	413,486
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	7,256	9,391
その他の包括利益合計	7,256	9,391
包括利益	554,786	422,877
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	556,398	457,720
非支配株主に係る包括利益	△1,612	△34,842

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2020年6月1日 至 2021年5月31日)

(単位:千円)

	株主資本					
	資本金	新株式申込証拠金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	787,148	—	756,148	1,807,682	—	3,350,979
当期変動額						
新株の発行	17,900		17,900			35,800
親会社株主に帰属する当期純利益				549,142		549,142
連結子会社の増資による持分の増減						—
自己株式の取得						—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						
当期変動額合計	17,900	—	17,900	549,142	—	584,943
当期末残高	805,048	—	774,048	2,356,825	—	3,935,923

	その他の包括利益 累計額	新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金			
当期首残高	—	12,665	—	3,363,644
当期変動額				
新株の発行				35,800
親会社株主に帰属する当期純利益				549,142
連結子会社の増資による持分の増減				—
自己株式の取得				—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	7,256	1,696	3,387	12,340
当期変動額合計	7,256	1,696	3,387	597,283
当期末残高	7,256	14,362	3,387	3,960,928

当連結会計年度(自 2021年6月1日 至 2022年5月31日)

(単位:千円)

	株主資本					
	資本金	新株式申込証拠金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	805,048	—	774,048	2,356,825	—	3,935,923
当期変動額						
新株の発行	18,982	11,010	18,982			48,975
親会社株主に帰属する当期純利益				448,329		448,329
連結子会社の増資による持分の増減			21,661			21,661
自己株式の取得					△99,978	△99,978
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						
当期変動額合計	18,982	11,010	40,644	448,329	△99,978	418,987
当期末残高	824,031	11,010	814,693	2,805,154	△99,978	4,354,910

	その他の包括利益 累計額	新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金			
当期首残高	7,256	14,362	3,387	3,960,928
当期変動額				
新株の発行				48,975
親会社株主に帰属する当期純利益				448,329
連結子会社の増資による持分の増減				21,661
自己株式の取得				△99,978
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	9,391	—	22,695	32,086
当期変動額合計	9,391	—	22,695	451,074
当期末残高	16,647	14,362	26,082	4,412,002

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2020年6月1日 至 2021年5月31日)	当連結会計年度 (自 2021年6月1日 至 2022年5月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	855,282	737,576
減価償却費	300,083	297,169
減損損失	—	265,130
のれん償却額	80,435	80,435
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△72,281	49,138
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	5,725	△16,131
受取利息	△40	△34
支払利息	9,949	7,875
損害賠償金	—	8,510
売上債権の増減額 (△は増加)	△767,994	154,929
商品の増減額 (△は増加)	△34,126	△287,237
仕掛品の増減額 (△は増加)	△11,323	△150,285
貯蔵品の増減額 (△は増加)	△485	893
仕入債務の増減額 (△は減少)	351,389	203,289
前払費用の増減額 (△は増加)	△1,010	△49,069
未収消費税等の増減額 (△は増加)	△141,906	113,910
未払金の増減額 (△は減少)	△113,470	34,450
未払費用の増減額 (△は減少)	△156,023	△95,872
契約負債の増減額 (△は減少)	22,200	328,267
預り金の増減額 (△は減少)	△18,526	△3,722
その他	124,427	35,807
小計	432,304	1,715,031
利息の受取額	40	34
利息の支払額	△9,819	△7,909
法人税等の支払額	△193,944	△350,723
損害賠償金の支払額	—	△8,510
営業活動によるキャッシュ・フロー	228,580	1,347,923
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△13,215	△130,875
有形固定資産の売却による収入	—	5,950
無形固定資産の取得による支出	△975,053	△209,145
投資有価証券の取得による支出	△100	△350,932
敷金及び保証金の差入による支出	△2,202	△2,200
敷金及び保証金の回収による収入	276,460	151,598
資産除去債務の履行による支出	△60,791	—
その他	△542	542
投資活動によるキャッシュ・フロー	△775,443	△535,062
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	500,000
長期借入金の返済による支出	△802,504	△635,496
株式の発行による収入	35,800	37,965
新株式申込証拠金の払込みによる収入	—	11,010
自己株式の取得による支出	—	△99,978
非支配株主からの払込みによる収入	5,000	79,200
財務活動によるキャッシュ・フロー	△761,703	△107,299
現金及び現金同等物に係る換算差額	30	247
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,308,536	705,808
現金及び現金同等物の期首残高	4,330,373	3,021,836
現金及び現金同等物の期末残高	3,021,836	3,727,645

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下、「収益認識会計基準」という。)等を当連結会計年度の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

これにより、一部の取引において、従来は顧客から受領する対価の総額を収益として認識しておりましたが、顧客への財又はサービスの提供における当社グループの役割が代理人に該当する取引については、顧客から受領する対価から関連する原価を控除した純額、あるいは手数料の金額を収益として認識する方法に変更しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っておりますが、当連結会計年度の期首の利益剰余金に与える影響はありません。

この結果、当連結会計年度間の売上高及び売上原価は3,148,536千円減少しております。

(時価の算定に関する会計基準等)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日)等(以下、時価算定会計基準)等を当連結会計年度の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。これによる連結財務諸表に与える影響は軽微です。

(会計上の見積りの変更)

(固定資産の耐用年数の変更)

当社は、本社オフィスの一部返却及び賃貸借契約期間の変更に伴い、返却に伴い利用不能となる固定資産について耐用年数を短縮するとともに、継続利用となる固定資産については耐用年数の見直しを行いました。

この結果、当連結会計年度の営業利益、経常利益及び税金等調整前当期純利益は、それぞれ76,621千円増加しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前連結会計年度(自 2020年6月1日 至 2021年5月31日)

当社グループは動画コンテンツ事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当連結会計年度(自 2021年6月1日 至 2022年5月31日)

当社グループは動画コンテンツ事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

【関連情報】

前連結会計年度(自 2020年6月1日 至 2021年5月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービス区分の売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：千円)

日本	欧米	アジア	合計
8,585,962	15,439,021	463,407	24,488,391

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高
Google LLC	14,427,401

(注) 当社グループは動画コンテンツ事業の単一セグメントであるため、関連するセグメント名の記載を省略しております。

当連結会計年度(自 2021年6月1日 至 2022年5月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービス区分の売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：千円)

日本	欧米	アジア	合計
10,780,336	12,440,619	363,966	23,584,921

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高
Google LLC	10,840,076

(注) 当社グループは動画コンテンツ事業の単一セグメントであるため、関連するセグメント名の記載を省略しております。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度(自 2020年6月1日 至 2021年5月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2021年6月1日 至 2022年5月31日)

当社グループは動画コンテンツ事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度(自 2020年6月1日 至 2021年5月31日)

当社グループは動画コンテンツ事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当連結会計年度(自 2021年6月1日 至 2022年5月31日)

当社グループは動画コンテンツ事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度(自 2020年6月1日 至 2021年5月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2021年6月1日 至 2022年5月31日)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2020年6月1日 至 2021年5月31日)	当連結会計年度 (自 2021年6月1日 至 2022年5月31日)
1株当たり純資産額	199.67円	220.54円
1株当たり当期純利益金額	27.90円	22.65円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	27.09円	22.19円

(注) 1株当たり当期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2020年6月1日 至 2021年5月31日)	当連結会計年度 (自 2021年6月1日 至 2022年5月31日)
1株当たり当期純利益金額		
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する当期純利益金額(千円)	549,142	448,329
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益金額(千円)	549,142	448,329
期中平均株式数(株)	19,684,989	19,793,205
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	584,653	408,494
(うち新株予約権(株))	(584,653)	(408,494)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式の概要	—	—

(重要な後発事象)

該当事項はありません。